

海がだんだん近くなる

海浜デッキ基礎工事はじまる

ベイタウンは名前の通り海に関係のある街だ。でも街にいて海を身近に感じることはほとんどない。ベイタウンが海と縁遠い理由は何よりも海へのアクセスが不便なことだろう。直線距離ではすぐ近くの幕張の浜も海浜大通りに阻まれて、大回りしなければたどり着けない。

だが、その不便さも今年の 10 月には解消される。ヴァレンティン通りの海側の端から海浜幕張の浜に向かって陸橋ができるのだ。そしてやっとその架橋工事が始まり、今は基礎工事が進んでいる。という訳で今回はその工事の様子を写真で取材してきた。やがて来る春の陽気に誘われてヴァレンティン通りを海に向かって歩いてみよう。耳をすませばクレーンの音の間から、幕張の浜の波の音が聞こえるかも知れない。



ミラマールの海側ではクレーンとショベルカーが入り、陸橋の基礎部分の工事が進んでいる。後ろに見えるのはマリ克福ート。手前が海浜大通り。



橋の名前をみんなで考えよう

ベイタウン入り口の「マリーンデッキ」のときは名前公募で決まった。今回も企業庁はこの橋の名前を来年度(4月以降)に公募する予定だ。今から楽しい名前を考えて応募しよう。



陸橋を渡って幕張の浜へはここから入る。現在はアクセス部分だけ木が伐採され、ガードレールが設置されている。



右は本物の写真のようだがこれは企業庁が発表している海浜デッキの完成予想図。

ミラマールの工事現場で見つけた工事案内掲示板。ここには完成予想図もあった。



海側では陸橋の橋台部分が作られていた。この台で橋桁を支え、エレベーターと階段はこの台の横につけられる。

工事の概要

- ・現在行われているのは、「下部工」(2月末完了予定)で、橋本体を作成する「上部工」は新年度(4月以降)に着工予定。完成予定は今のところ2011/10月。
- ・名称は、現在は仮称「海浜デッキ」と呼んでいるが、マリーンデッキのときと同様に、住民に公募予定(新年度に入ってから)。
- ・上部構造はマリーンデッキと同様で、道幅が広いので、マリーンデッキよりも長くなるが、両端はスロープでなく、階段およびエレベーターとなる。



ヴァレンティン通りを海に向かって歩きつづけ、見えてきた緑の林は幕張の浜の防風林。陸橋ができればここから橋を渡って海に出られる。

「今は自分のエネルギーと時間を打瀬中学校に使いたい」



ハンドボールの世界最高峰と言われるドイツのブンデスリーグで3年間活躍し、帰国後長年の夢だった中学校教師をめざし教員採用試験に合格。打瀬中学に着任し、2年目が終わろうとしている河田先生にインタビューしました。【北村】

河田先生とハンドボールの出会いは中学校のクラブ活動。ハンドボールを通して、技術はもちろんのこと、人とかかわり方など多くのことを学んだ。特に、「自分もこういう風に人とかかわって生きていきたい」と思ったのが当時ハンドボールを教えてくれた中学校の先生だった。「かっこいい」と思った。

高校はハンドボールで有名な学校に進学。この頃日本一になりたいと考え始める。

大学はハンドボールの盛んな順天堂大学に進学。さらに大学院に進み、順天堂大学ハンドボール部の監督を務める。実業団に進まなかったのは、「中学校の先生になりたい」という思いがあったから。

その後、世界最強のハンドボールプロリーグにチャレンジしてみたい気持ちが高まり、ドイツへ。1年目は練習生、2年目からはプロ契約し、ドイツで合計4年間を過ごす。

所属の「コンコルディア・デーリッチ」はライプチヒ近くの町で、地域に根差したクラブチーム。町ぐるみのファンが多いので、町を歩いていると「HIRO」と声が掛かる。町の小学校では選択体育のハンドボール指導を担当。2m級の選手の中、河田先生は172cmの「チビっ子」として人気者。ドイツでの4年間はとにかく生活すべてがハンドボール中心だった。大好きなハンドボールを仕事にできる幸せを感じながら、毎日ハンドボールのことだけを考えて、一生懸命頑張っていた。

順天堂大学は千葉にある。千葉国体の開催が決まり、千葉のハンドボール界では河田選手の力を必要としていた。そこで「そろそろ帰ってこないか」と声が掛かる。いつかは教員になりたいという夢もあったので帰国を決意。教員採用試験にも合格し、長年の夢であった中学校の先生としての生活がスタート。同時に週末は国体に向けての練習もこなしていった。

千葉国体では5位入賞。父兄が横断幕を持って応援に来てくれ、とても嬉しかった。

打瀬中学ではハンドボール部の創部を提案し、募集をした。集まってくれたのは1年生の男子。コートもボールもゴー

ルもない中、走って、遊んで、先生が見本を見せて指導。対戦試合をすると、相手は3年生。全く相手にならなかったが、2年を経た今、部員たちの技術も向上し、どんどん勝てるように。千葉市3位になり、県大会にも出場した。ハンドボール部の生徒たちには3年間終わった時にハンドボール部を選択して良かったと思ってもらえたら嬉しい。

順天堂大学で監督をしていた河田先生だが、中学校のクラブ活動は教育の一環。技術と戦術を伝え、チームが強くなり、成績を上げればいいというものではない。クラブ活動を通して、成長を促し、人間性を育てていかなくてはならない。

クラスでもクラブでも、生徒たちにこうなってほしい、という思いがあるから、つい厳しく指導してしまう。中学校で教えている大切なことは、今後社会で役に立つはず。生徒たちがどうやって一生懸命ものごとに打ち込んでくれるのか、日々考え、一緒になって動いている。

千葉国体は終わったけれど、国体はまたある。社会人全国大会もある。過去二年連続準優勝に貢献した河田選手にはハンドボール界からたくさんの誘いがある。

けれど、今、河田先生は打瀬中学校にやりたいことがある。「時間とエネルギーを子供たちとかかわることに使いたい。子供たちに伝えたいことがある。たくさんの先生や生徒がいて、違う意見もある。考え方も違う。でも、みんなそれぞれ役割がある。いろんな人が集まって、クラブができ、チームができ、クラスができている。僕ももっと勉強して、いろいろなことを学び、自分のできることを頑張っていきたい。生徒たちの成長を感じると、先生になって良かった、と心から思う」



3月19日(土) わくわくお話し会 3月の常設お話し会

3月の常設 お話し会

時間：10:30～

場所：ベイタウン・コア 講習室(途中入場もできます)

今月もわくわくするおはなし、ゲームを用意してお待ちしています。年齢制限はありません、絵本の好きな大人も子どももぜひ来てね！予約は不要です。** 読み手も募集中、見学歓迎 **
お問合せ先：井上 (211-0188 wak2@yahoo.co.jp)

3月20日(日)/21日(月、祝) ホロピッツ国際受賞者コンサート

カスベル教授による公開レッスン

日時：3月20日(日) 10:00～12:00 / 14:00～18:00

3月21日(月、祝) 17:00～20:00

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール 入場料：1,000円

上級者のマスタークラスレッスンです。見学のみ可能です。

連絡先：大垣(TEL：276-3878)

ホロピッツ国際コンクール入賞者3名によるコンサート

日時：3月21日 18:00～20:00

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール 入場料：2,500円

連絡先：松村(TEL：211-6853)

3月26日(土) 寺子屋工作ランド

内容はコアのアトリウムに掲示しています。

時間：9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア 工芸室

持ってくるもの：小刀、タオル

参加費：50円(保険料)

3月27日(日) ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

第92回ファツィオリの会

時間：9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

月に1度、イタリアのフルコンサートピアノを囲んで楽しむ会です。ピアノ以外の楽器演奏や声楽でもご参加いただけます。非公開でもご利用いただけますので、お気軽にお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。

最新のプログラム内容は

<http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切：3月19日(土)

連絡先：kaorutom@kjb.biglobe.ne.jp(富田)

地代について知っていますか？

ベイトウンの住民にとって、切っても切り離せないのが地代の存在。マンション購入時には興味を持って多少なりとも勉強したという方も多いはず。しかし、いつの間にか地代を意識することはなくなり、現在支払っている額さえ分からないという方もいるのではないのでしょうか。今回は、企業庁、マンション事業主、住民に取材したことをもとに、あらためて地代とは何かをまとめました。【城本】

ベイトウンの居住区の土地は一部例外を除き、千葉県企業庁が所有しています。企業庁は、街区ごとにマンション事業主と土地賃付契約を結んでおり、年に一度、事業主から「地代」が納められます。一方、貸借人である事業主は居住者に土地を貸す「転貸」を行っており、借地に建てられたベイトウンのマンションは「土地転貸借権付住宅」と呼ばれます。つまり事業主は、県から借りている土地を居住者に又貸ししているのです。あるマンションの事業主によると、「一般的に事業主が地代手数料を取ることはありません。居住者が支払う地代の全額を企業庁に納めます」ということです。因みに、各住戸の地代は、専有面積に応じ事業主が細かく設定しています。

企業庁と事業主が契約を交わした街区の地代は、3年に一度、企業庁が見直しを行います。街区ごとに契約時期は異なりますから、地代見直し時期もマンションによって違います。企業庁は、内閣府が発行しているGDPデフレーターを使用して見直しを行うそうです。駅からの距離など立地条件も考慮されます。地価はここ数年下がっていますから、「地代の値下げ」が行われたマンションも多いのではないのでしょうか。

このように地代は、企業庁が明確なルールに基づいて設定しているのです。しかし、ここで心配なのは企業庁が解体し、ベイトウンのあらゆる施設等が千葉市に移管された後のことです。居住

区の地代はどうなるのでしょうか。企業庁に確認したところ、居住区の土地はあくまでも「県」と「事業主」で30年間の契約を結んでいるので、企業庁解体後も「県の後継組織」が引き継ぐということです。従って、道路や緑地帯、施設等が市に移管されても、居住区の土地は引き続き県の管理下になります。また、最初の契約は30年間ですが、双方から特に申し出がなければ更に30年間の自動更新になるそうです。その後は10年単位の更新になる予定です。

しかし、ベイトウン内全てのマンションが土地転貸借権付住宅ではありません。セントラルパークウエストは、土地の所有権が持てる「土地付分譲住宅」です。企業庁によると、ベイトウンの事業計画がスタートした当初、居住区の10%くらいは事業主に分譲しようと考えていたそうです。しかし、バブル崩壊の影響で計画通りにはいかず、結局分譲できたのはセントラルパークウエストの土地だけで、残りは全て借地になりました。

では住民は、土地が借地であることをどう考えているのでしょうか。セントラルパークイーストにお住まいの男性に取材しました。

「マンションを購入する際、土地転貸借権付住宅であるというのは、大きな考慮要因にはなりません。土地については登記が不要で固定資産税がかかりませんし、自分の土地ではないので地代を支払うのも当然という気がします。地代の急な値上げ等がない限り、（企業庁、事業主との）信頼関係もあるので、約束通り払うべきだと思います」

ベイトウンの土地転貸借権付住宅は、企業庁、事業主、住民が互いを信頼してこそ成り立つものであると、改めて気づきました。今後も三者の良好な関係が維持できるよう、住民は、企業庁や事業主がどのような考えで街を管理しているのか、関心を持つことが大切ではないのでしょうか。

文化基金だより

いつもとちがうコンサート

2月20に行われた「須関裕子のピアノ物語」。この日、コンサートを主催したコア文化振興基金はちょっとした実験をしていた。フルコンサートピアノのファツィオリをホール中央に置き、客席がピアノと演奏者を取り囲むレイアウトだ。演奏者と客席の距離を近くし、ピアノの天板（上の黒い板）も外してホールに入ったときピアノ内部が見えるように開放感のある配置にしていた。

この日のコンサートはもともと「肩肘の張らない気軽なコンサート」と、ピアノを習っている子ども達やその保護者の方を考えての企画だった。人気のある小品や名曲を選び、ピアニストの須関さんには楽曲や作曲者の解説とともに演奏の方法なども説明してもらった。玄人向けではないが、誰もが気軽に聴けるようにとチケットを安く設定し、興行としては赤字を見込んでの企画だった。主催者のコア文化振興基金にはこれまでのコンサート活動で得た基金の積み立てがあり、ベイトウンの音楽文化振興のために支出することにした。本来基金の目的は、ベイトウンの住民の財産であるピアノ、ファツィオリの保守やホールの管理が目的だが、地域の音楽文化のために使われるなら趣旨には叶っている。

ピアノを中央に置くことは、いつものようにホール奥のステージ上の配置に比べると音響的には劣る。しかし、ピアニストとの距離が近く、また鍵盤がよく見える位置に座ることもできるのでピアノを演奏する子ども達にはとてもいい配置だったようだ。

コンサートには期待したとおり子ども達の

姿が多く見られた。友達同士チケットを握りしめて来た小学生も沢山いた。この日、子ども達はホールに入るなりピアノの正面ではなく、演奏者の後ろを取り囲むように座り始めた。ピアノを弾く人にとってコンサートの最上の席は鍵盤の見えるところというが、どうやらこの日の子ども達も鍵盤とピアニストの手が目当てだったようだ。中には自分の弾きたい曲の片方の手の運指が見える位置を探して座っているような子も見られた。ベイトウンの子どもたちの音楽熱は高い。いつか自分もと熱心に見つめる視線が印象的だった。

演奏会後にもハプニングがあった。役目の終わったファツィオリの周りを沢山の人が取り囲み、天板の外されたピアノを覗き込んだり、「FAZIOLI」の文字を感慨深そうに眺めていたのだ。これまでコア文化振興基金は多くのコンサートを催し、ピアノのこと、ホールのことを広報してきたが、実物のピアノはいつもステージの上に置かれ、これほど間近に見てもらう機会

を作ってこなかった。遅まきながらこの日のコンサートがFAZIOLIピアノのお披露目となった形だ。

「おじさん。今日はお父さんが来れないから僕がお手伝いします」。いつもコアの文化振興基金のコンサートのお手伝いをしているMさんの子どもK君は張り切った顔でホールに入ってきた。丁度ピアノの配置も終わり、椅子も並べて一段落ついたところだったので、「ありがとう。今日は頑張ろう」と返事をしたが、彼は「今、することはありますか」と言いながらホール内の椅子の乱れを直し始めた。K君は小学校3年生。毎回沢山の住民ボランティアの協力で開催されるコアのコンサートには後継者も育ってきたようだ。



コア チェンバーシンガーズ 第6回定期演奏会

ベイタウンの混声合唱団「コア・チェンバーシンガーズ」が第6回目となる演奏会を開催します。

今回の演奏会では合唱組曲「心の四季」を中心になつかしい曲や新しい曲など15曲を披露します。響きのよいホールで混声合唱の魅力を味わってください。

日時：平成23年3月13日（日） 午後2:00 開演

場所：幕張ベイタウン・コア 音楽ホール

プログラム

1. 風とともに（「風」をテーマに）千の風になって、他
2. 私のお気に入り

手紙～拝啓、十五の君へ（女声合唱）さらば青春、他（男声合唱）

3. 合唱組曲「心の四季」 作詩 吉野弘 作曲 高田三郎

指揮：浪岡浩子 ピアノ：白田圭介

コア・チェンバーシンガーズでは団員を募集しています。練習日の毎月第2、第4土曜日の夜コア ホールで見学いただくか、下記までご連絡ください。

Tel：043-211-6853（松村） mail：mazmbtn@yahoo.co.jp

「Fairies」(フェアリーズ) がCDデビューとプレミアムコンサート

ベイタウンで活動している「ジュニアコーラス フェアリーズ」(幼稚園から高校生まで98人が在籍)を母体として今年発足した「Fairies」(フェアリーズ)が7月にCDデビューすることになりました。

初めてのCDアルバムは、少女らしい透明感のある美しい歌声とハーモニーを楽しんでもらえる作品になりそうです。

今年の千葉県合唱アンサンブルコンテストでも金賞を受賞したメンバーは実力も評価されています。

そんなメンバーたちとフェアリーズの講師陣によるコンサート「フェアリーズ プレミアム コンサート」が開催されます。ぜひ美しい歌声をお楽しみください。たくさんのお客様のお越しをお待ちしております。

「フェアリーズ プレミアム コンサート」

日時：3月27日（日） 開場18時 開演18時半

場所：美浜文化ホール 音楽ホール

チケット：一般2,000円 小中学生1,800円

出演 ソプラノ：森本真由美（木下牧子「月の角笛」ほか）

ピアノ：白田圭介（ラヴェル「クーブランの墓」よりトッカータほか）

コーラス：Fairies（C. コルベル「Arrietty's Song」ほか）

（コンサート、入団についてのお問い合わせ先 森本211-7676）

ベイタウンに「鈴木メソード・ヴァイオリン教室」

4月から「鈴木メソード・ヴァイオリン教室」がベイタウンでも始まります。教室を開くのは、これまで著名な音楽家を多数輩出している都内でも最大規模の江東・浦和支部。セントラルパーク・イースト マザーズスタジオにて毎週土曜日開講の予定です。

お問い合わせ：03-3681-2497, 090-3225-9783 佐藤 勝夫

ヴァイオリン教室の開講にあたり、ミニコンサートを開きます。これまでの卒業生や現在ヴァイオリンを習っている子ども達の演奏をお楽しみください。

「ミニ・コンサート」

日時：3月20日（日）午後1:30（1時半）より

場所：セントラルパーク・イースト マザーズスタジオ

お問い合わせ：03-3681-2497, 090-3225-9783 佐藤 勝夫

春のコア花壇

コア花壇に梅一輪

今年、コア花壇では初めて梅の花が咲きました。梅はベイタウンでは珍しい花です。もしかするとこの一本しかないかもしれません。この梅は花の好きな初代館長の吉岡先生が植えたそうですが、これまで一度も花をつけたことはなかったそうです。昨年同じように花の好きな秋田館長が剪定したので、それが良かったのかもしれませんが。気になるのはこの梅がこれから毎年花をつけてくれるかどうかです。



コア裏のナノハナ畑が不作（？）

毎年花を咲かせていたコア裏のナノハナ畑ですが、今年は生育がよいようです。土が悪いのか、それとも毎年同じ畑から取れるタネを秋に蒔くことにしているのが悪いのか。育ててきた小畑さんも首をかしげていますが、理由は分かりません。例年ならもう太く育った菜に黄色い花が咲く筈ですが、今年はか細い茎が弱々しく立ち並び、花も小ぶりです。このままでは毎年コアで行っているナノハナのタネプレゼントも危ないかもしれません。。しばらく気をも

む日がつづきそうです。ナノハナ畑のそばを通ったら「がんばれ」と声をかけてみましょう。



中庭のスイセンも咲きました

あまり目立ちませんがコアの中庭にはスイセンが咲いています。朝日を受ける最も日当りのいい場所で花壇には格好の場所ですが、芝生があるのであまり花は育たない場所です。今年もスイセンが咲きましたが、あまり生育はよくありませんでした。花はつけていますが茎は細く、背も低いので心配していました。しかし2月末頃、春一番の風が吹いて気温の高い日が2、3日つづくと急に元気になり、今は見違えるように花を沢山つけて茎も逞しくなりました。スイセンには毎日職員さんが水をやり世話をしています。

